

美しい音を求めて… ノン・レガートからレガートへ



ロシアからは多くの大ピアニストたちが生まれていますが、
彼らはどのようなピアノ教育を受けて育ったのでしょうか？

ロシアの子どもたちが使用しているピアノ教本を使って“美しい音”を響かせましょう！

◆講座内容◆

1) ロシア奏法について

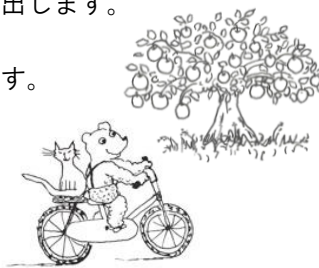
- ・大きな特徴である「レガート」「ピアニッシモ」の美しさを追求し、音楽がつながって歌になるように演奏することを目指します。
- ・もうひとつの重要な要素である「ペダリング」にもつながる基礎づくりを、子どものころから学びます。

2) 『はじめの一步』について

- ・ノン・レガートからはじめ、しっかりとした手のかたちを作りあげその上でレガートを小さいころから徹底して体得。フレーズを感じて音楽を奏でられるように練習します。
- ・「手首をあげて」ではなく「手の甲をあげて」と表現し、これまでとは違う意識づけによりフレーズを引き出します。
- ・「〈アクティヴ〉に指を動かすとは？」美しいレガートにつながる大切な要素を説明します。

3) レッスンでの指導

各巻の中で、重要なポイントを数曲取り上げ、指導のコツを紹介します。



◆講師◆

平野智子

(ひらのともこ)



桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部卒業。1996年より

パリ・エコール・ノルマル音楽院に留学。同院ディプロマ及び同院最高過程終了。97年ブーランク国際コンクールにてディプロマ賞受賞。98年サンノム・ラ・ブルテッシュ国際コンクールにてディプロマ賞受賞。同年パリ・シテ・デ・ザールのコンサートホールにてリサイタルを行う。2001年ビュレンヌ・シュール・セヌコンクールにて第2位入賞。01年から07年まで毎年フランスにてソロおよび室内楽のコンサートを開催。

2001年帰国後、セントラル愛知交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団、チェコ・フィルハーモニー六重奏団、アロマ室内管弦楽団と共演。第4回クラスノヤルスク環太平洋アジア国際音楽祭（ロシア）招聘出演するなど、ソロ、室内楽において演奏活動を行っている。

これまでに故 栗原一身、佐野翠、故 松岡貞子、村手静子、中沖玲子、V・サハロフ、J・ラギャルド氏に、室内楽を故 三善晃、原田幸一郎、N・パタルセック氏に師事。現在、名古屋芸術大学非常勤講師。

●日 時

2018年 3月5日(月)
10:30～12:30

●会 場

塩尻市民交流センター（えんぱーく）

3階 多目的室

長野県塩尻市大門一番町12番2号

TEL: 0263-53-3350

●受講料（税込）

一 般:3,500円 会 員:3,000円

●教 材

「ロシア奏法によるピアノ教本 はじめの一步①②③」

参考楽譜:「はじめの一步 曲集」（以上、音楽之友社）

※当日会場でも販売いたします

●お問い合わせ・お申込み先

株式会社 サウンドパートナー

〒390-1132 長野県松本市空港東 9063-1

TEL: 0263-31-5370

FAX: 0263-31-5390

キリトリ線

株式会社 サウンドパートナー 行

FAX. 0263-31-5390

申込日 月 日

平野智子 公開講座

2018年3月5日(月)

『はじめの一步』実践セミナー

申込書

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種 別	一 般 / 会 員		

※〇印をおつけください。ご記入いただいたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。